

## (6) 食肉の入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場 食肉市場

(電話) 258-3131

### 【牛肉の概要】

繁忙期に入り、共進会の開催も多く入荷は和牛中心となり、通常より多くの取り扱いとなり前年同時期と比較しますと、やや多めの取り扱い見込みです。枝肉相場につきましては、全国旅行支援や入国制限が解除されたことから、人の動きが多くなり外食需要等の回復が期待されましたが、末端需要は依然として動きは鈍く期待されたほど回復していないようです。年末年始の需要に向け、相場状況は等級格差が縮まった状態で量販店向けの4等級を中心に強保ち合いの展開が続いています。

### 【品目別】

和牛	外食需要の停滞から、5等級の価格が伸び悩む展開が続いていますが、量販店向けの4等級の引き合いは強まり出しており、今後、共進会の開催が多くなるにつれ5等級の引き合いが強くなることが予想されます。外食需要の回復次第では、価格差が顕著に表れると思われれます。
交雑牛	繁忙期は和牛の代替需要として引き合いが強まる傾向にあります。
乳牛	繁忙期は取り扱いが減少し、価格も下げ傾向にあります。

(注) 当市場での輸入牛肉取扱いはなし

### 【豚肉の概要】

入荷に関しては、市場が年末・年始の休みに入ることから、前倒しで出荷するために、増加するものと思われれます。価格に関しては、輸入品の仕入れの不安定と価格の高騰により量販店の販売が、国産にシフトしつつあることから前年より高値で推移するものと思われれます。